

FFTA10APU/10BPU

USB インタフェース

ご利用の手引き

1.0c 版
(2022 年 1 月)

はじめに

このたびは FFTA10AP/10BP シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書には、FFTA10AP/10BP シリーズの外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて FFTA10AP/10BP シリーズを使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて FFTA10AP/10BP を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

商標について

Microsoft[®] Windows[®]は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

日栄インテック株式会社 Auto-ID グループ

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第1ビル
電話：03-5816-7141 FAX：03-5816-7140 e-mail：info@barcode.ne.jp

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味：

- △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。
- ⊘記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。
- Ⓢ記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

 警告	
重要：システム設計者へ ◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。	
◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。 ➢ 煙がでている場合、変なにおいや音がしている場合 ➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合	
◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。 事故や故障の原因になります。	
◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。 感電の原因となることがあります。	

 注意	
次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。 ◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いもの下敷きにならないようにしてください。 ◆ スキャナ本体をたたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。 ◆ 不安定な場所に置かないでください。 ◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。	

セットアップ

※FFTA10AP/10BP シリーズ (USB インタフェース) は、出荷時にキーボード (HID) インタフェースに設定されています。仮想 COM インタフェースでご利用になる場合は、弊社 WEB サイトより取扱説明書および仮想 COM ドライバをダウンロードして、設定変更および仮想 COM ドライバのインストールが必要です。

(1) ドライバのインストール

FFTA10AP/10BP シリーズ を初めて PC に接続する際、「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」ドライバのインストールが必要になります。ここでは、Windows XP SP2 の画面を用いて、インストール手順を説明します。他の OS でも、ダイアログ表示が多少異なりますが、ほぼ同じ手順です。また、現行サポートされている OS は、自動でインストールが進みますので下記を気にする必要はございません。

a) PC に電源を投入し、Windows を起動します。

b) スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。

※ USB ハブは使用せず、スキャナを直接、PC に接続してください。USB ハブ経由でもほとんどの場合は使用できますが、環境によっては、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせていただいておりますのでご了承ください。

c) インジケータ LED が点滅し、スキャナのブザーが 1 回鳴ります。

※ インジケータ LED がまったく光らず、ブザー音もまったく鳴らなかった場合は、一旦 PC の電源を切り、ケーブルの接続を確認してやり直してください。それでも状況が改善されない場合は、表紙に記載の弊社担当窓口までご連絡ください。

※ 設定によっては、2 回目以降の接続では、電源投入時の起動ブザー音が鳴らないことがあります。

d) PC のディスプレイ画面のタスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました Anly Keyboard」のダイアログが数秒間表示された後、自動的にドライバのインストールが始まります。

※OS が Windows Me 以前の場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合は、画面の指示に従って設定してください。



e) ドライバのインストールが完了すると、「新しいハードウェアが見つかりました 新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」と表示されます。



(2) 読取テスト

文字入力できるアプリケーション（メモ帳など）を起動して、次のテストバーコードを読み取ります。



カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。
この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

設定手順

- (1) 『開始』バーコードを読み取ります。ブザーが「ピピピッ」と4音のメロディで鳴り、設定モードに入ったことを知らせます。設定モードの間は、表示LEDが点滅し続けます。
- (2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。ブザーが「プププ」と3回鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。（パラメータによって、ブザーの鳴り方、メロディは異なります。）
- (3) 必要な設定が終わったら、『終了』バーコードを読み取ります。ブザーが「ピププ、ピーッ」と4音のメロディで鳴り、設定モードが終了したことを知らせます。
- (4) 複数のパラメータを設定する場合は、(1)～(3)を繰り返します。

- ※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度「出荷時設定」に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。
- ※ パラメータによっては、複数の設定バーコードを順番に読み取って設定するものがあります。順番を間違えると、「プププッ」と短いブザーが4回鳴ります。
- ※ パラメータによっては、『終了』バーコードが不要で、自動的に設定終了となるものがあります。

出荷時設定

FFTA10AP/10BP シリーズ (USB インタフェース) の出荷時設定は、キーボード (HID) インタフェース・日本語キーボードになっています。出荷時設定に戻すには、次の 4 つの設定バーコードを上から順に取り扱います。

※ 出荷時に下記設定をしてありますので、通常はそのままでお使いいただけます。



設定初期化



開始



日本語キーボード



終了

※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記の出荷時設定を行なったときに設定される項目です。



開始

キーボードインターフェースの各種設定

キーボード種類（国別）設定

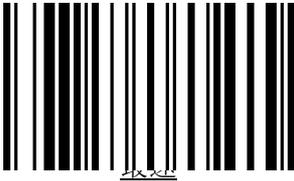


106（日本語）キーボード

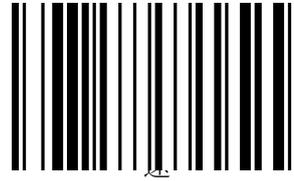


101（英語）キーボード

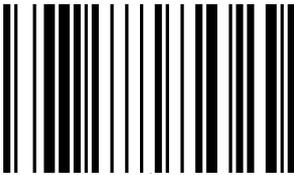
文字送信（キーストローク）速度の設定



遅



中



速

スキャナからのキーボード入力信号を PC 側が受けきれない場合は、送信速度を遅く設定してください。

インターフェースの設定



H I Dキーボード



U S B 仮想 C O M

※U S B 仮想 C O M でご使用になる場合は、専用の U S B ドライバが必要となりますので設定変更前に弊社ホームページよりダウンロードし接続先の機器にインストールの上、設定変更を行って下さい。
(Windows10 は O S 自体が持っているドライバを使用するためインストールする必要はございません)



終了



開始

データサフィックス（データ後付加文字列）の設定

FFTA10AP/10BP シリーズでは、サフィックスとターミネータとが統合され、ターミネータもサフィックスとして設定します。ここでは、一般的にターミネータとして設定されることが多い代表的なものを記載しています。

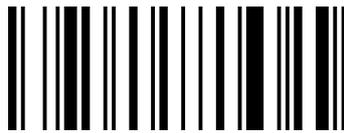
初期値では、「Enter」が設定されています。

設定手順：

『開始』→『データサフィックスの設定』→サフィックスに設定する文字を選択→『決定』（自動終了）

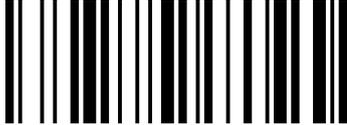
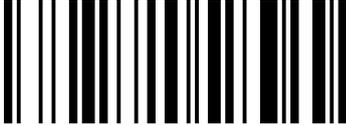
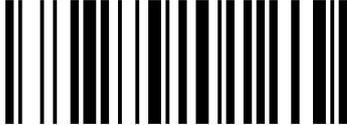
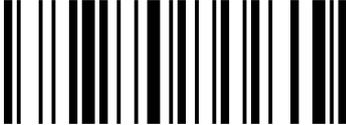
なお、サフィックスを「付加しない（サフィックス無し）」に設定する場合は、次の順に設定バーコードを読み取ります。

『開始』→『データサフィックスの設定』→『決定』（自動終了）



データサフィックスの設定



 <u>Enter</u>	 Space
 Tab	 Esc
 右 Ctrl	



決定

読取バーコードシンボル体系について

下記バーコードシンボル体系は、初期設定で読取許可に設定されています。

- ・ JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E
- ・ コード 39
- ・ コード 128 (GS1-128 を含む)
- ・ コーダバー (NW7)
- ・ コード 93

下記バーコードシンボル体系は、初期設定では読取禁止になっていますが、設定を変更することで読取可能になります。弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして設定してください。

- ・ JAN/EAN/UPC のアドオンコード
- ・ GS1-DataBar (RSS コード)
- ・ コード 39 のフル ASCII 変換
- ・ インタリーブド 2 オブ 5 (ITF)
- ・ インダストリアル 2 オブ 5
- ・ マトリクス 2 オブ 5
- ・ コード 11
- ・ MSI/Plessey
- ・ TELEPEN

※ その他の詳細設定については、弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷してご利用ください。仮想 COM ドライバも、下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.barcode.ne.jp/product/1152.html>